

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和8年1月31日

事業実施地区	小島区
事業名	地域住民への安全啓発、教育、教養の育成、文化継承事業
団体名及び 代表者名	(団体名) 小島区 (代表者名) (連絡先)

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

<p>昨年より長野市が推進している地域ごとのコミュニティタイムラインについて、区民への説明をしているが、プロジェクターを購入・活用して更なる浸透を目指す。また、各種団体を含めた区民への教育・教養・文化事業啓発運動及び継承など、様々な場面で多く活用してもらおうもの。</p>	<p>【事業完了日】 令和8年1月31日</p> <p>【総事業費】 93,500円</p> <p>【補助金額】 68,000円</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

<p>2025.7.6 小島区自主防災訓練にてプロジェクター、スクリーンを使い『台風19号災害の教訓に学んだこと』をテーマに実際に災害に遭われた方を講師に迎え、実際の写真を写しながら経験談をお聞きする事が出来、有意義な防災訓練研修ができた。</p>
<p>2025.10.18 小島区人権研修にてプロジェクター、スクリーンを使い『誰もが大切にされる社会の為に～障害者の人権をとおして』をテーマに人権研修を実施。多くの参加者に講義の内容が伝わる研修が開催できました。</p>

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に○）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容	○			
事業の効果	○			
特記事項 (評価理由等)	防災研修では、実際の災害の状況、現場写真等を見る事ができ、いざという時の行動の仕方や現場での考え方がよく理解できたとの声が多く出た。			

■今後の取組予定

<p>今後も地区の各種研修、各行事、各種会議、イベント等に有効に使用していきたい。 地区の育成会、敬老会、各団体でも使用を増やしていきます。</p>

支所発地域力向上支援金報告書

報告 No. 01

実施年月日	実施内容	現況・内容
2025年 7月 6日	小島区自主防災訓練	小島区自主防災訓練にてプロジェクター、スクリーンを使い『台風19号災害の教訓に学んだこと』をテーマに実際に災害に遭われた方を講師に迎え、実際の写真を写しながら経験談をお聞きする事が出来、有意義な防災訓練研修ができた。
	防災研修	
	講師	
	小川醸造場 小川泰造氏	

実施写真



支所発地域力向上支援金報告書

報告 No. 02

実施年月日	実施内容	現況・内容
2025年10月18日	小島区人権研修	2025.10.18 小島区人権研修にてプロジェクター、スクリーンを使い『誰もが大切にされる社会の為に～障害者の人権をとおして』をテーマに人権研修を実施。多くの参加者に抗議の内容が伝わる研修が開催できました。
	人権研修	
	『誰もが大切にされる社会の為に～障害者の人権をとおして』	

実施写真



支所発地域力向上支援金 事業評価(柳原支所)

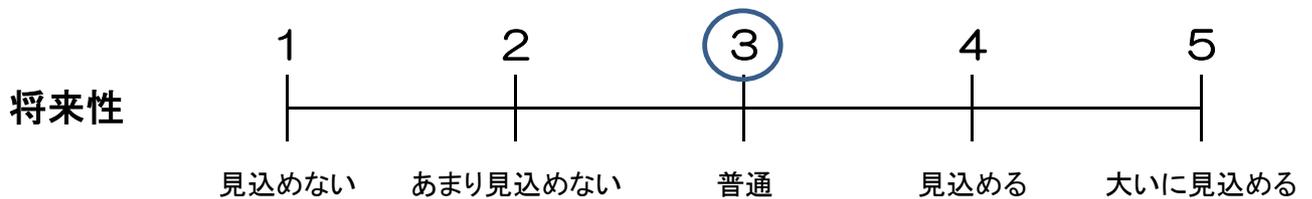
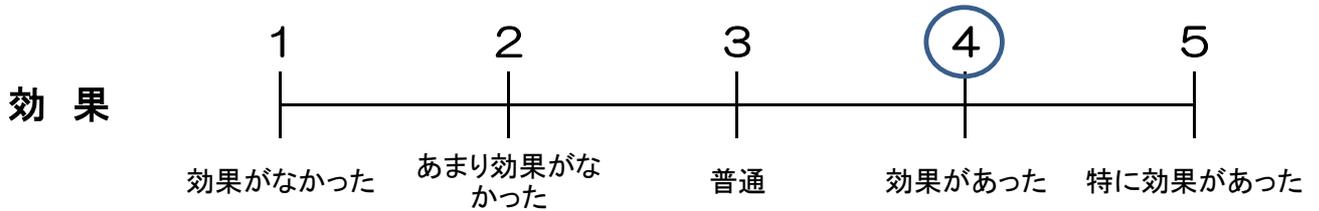
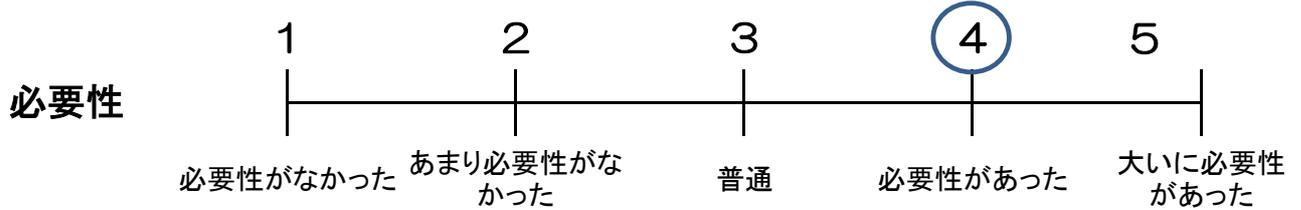
令和8年2月4日

事業名	地域住民への安全啓発、教育、教養の育成、文化継承事業
------------	----------------------------

団体名	小島区
------------	-----

評価項目 (選考基準の視点で評価)

事業区分	教育文化活動
-------------	--------



支所長の総合評価 (次年度以降の活動への助言等)
<p>昨年8月に柳原地区住民自治協議会で発行したコミュニティタイムラインを区民へ周知し更なる浸透を目指すため、併せて各種団体をはじめ教育、教養、文化の継承などな場面で活用するため、プロジェクター・スクリーンを購入した事業である。</p> <p>実際に区での自主防災訓練や人権研修で使用し、有意義に活用しているとのことであるが、プロジェクター類一式は、従来は紙で用意していた資料に比べ準備段階においても手間や経費の軽減につながるため、今後とも工夫いただきながら効率化を図っていただき、更に住みよいまちづくりを推進いただきたい。</p>